

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

見取りの共有～一枚の写真から～／認定こども園 常磐会短期大学附属常磐会幼稚園（大阪府）

子どもの姿の見取りを職員間で共有するために、どのような方法をとっていますか？エピソード記録、メモ、写真、記録ノート、ウェブ図等々、園の実情に合わせて記録の方法を工夫し、「科学する心」が育まれる姿について、職員間で話し合いをすることに繋げている実践が増えていきます。今回は、環境に関わる子どもの姿を撮った「一枚の写真」から、職員みんなで自由に語り合い、主題の理解や子ども理解の共有を図っている園の実践をご紹介します。



● 写真による見取り／保育者

- 本園では、「子どものまなざしの向こうにあるもの～環境に関わる子どもの姿～」を研究の目標に掲げ、研究を保育に活かし、保育の質の向上に繋げようと取り組んでいる。平成27年度に新園舎が完成し、幼稚園型認定こども園になって一年半が経った。「新園舎という新しい環境で、どのようにすれば子どもたちが楽しんで遊ぶことができるか」「園舎や園庭の環境や人的環境の変化という新しい環境をどのように活かして保育をすることができるか」と、職員も子どもと一緒に過ごしなが、毎日試行錯誤しつつ保育を進めているところである。

- また、「写真による見取り」という方法を用いて研究をしている。職員がカメラを携帯し、保育の一場面を写真に撮ることで、子どもの表情や情景を“見える化”し、記録している。カメラの前でポーズをとる姿とは違い、遊んでいる“ありのままの姿や表情”を写し出す写真からは、その時の遊びの様子や心情が伝わってきて、子どもの深い理解に繋げることができる。

一枚の写真であっても、保育者の見る視点によって様々な想像（見方・捉え方）が浮かび上がる。中心に写っている子ども、その後ろ

- にそっと写っている子どもも…。職員みんなで共有することで、撮った本人が気付かない子どもの様子を考えることができる。

写真に写っている子どもの性格や日々の姿などの背景や成長の過程を知っているかいないかに拘わらず多様な見方があり、たった一枚の写真から、多くの姿を想像し、見取り、共有することができた。また、そこから主題「科学する心」の捉えにも繋げることができ

- る。以下に一つの事例を掲載。

✦ 例



なんで離れたところで作っているの？

友達の遊びの様子をじっと見ている

友達と一緒に遊ぶ姿が珍しい（背景や育ちの経過を知っている教員より）

冬の服装、季節は冬で寒そうだが、遊びを楽しんでいる様子

泥が嫌いだったのに触っている！（背景や育ちの経過を知っている教員より）

さら砂の準備、さら砂をかけられたらきれいな泥団子が作られると知っていそう